

**【ポイント1】暮らしを支える国内ターミナル機能等の強化による利便性向上<Ocean・Ship・Island>**

離島・沿岸諸島も含めた利用者に対し、**ターミナル施設の機能向上**等を図るとともに、**駐車場機能強化**等による利便性向上を図る。また、地震などの緊急時においても**フェリー等が安定的に運行できる機能強化**および、**効率的な物資供給**が可能となる**ふ頭機能強化**を図る。

**【方向性】****<1-1> ターミナル施設の機能充実、バリアフリー化・延命化の推進**

ターミナル施設のバリアフリー化を図り、駐車場の再整備および車両待機スペース・動線を見直します。

(例) ●ターミナル内バリアフリー化、ボーディングブリッジ改修、駐車場改築・ターミナルとの連結

**<1-2> 岸壁の耐震性検討と対象船型の見直し・リダンダンシー確保**

旅客埠頭に地震時での継続的な運航を可能とするため耐震強化岸壁の整備や、リダンダンシー確保のため、可動橋の複数化を検討します。併せて国内ターミナル機能の集約を目的に、対象船型の再配置を検討します。

(例) ●耐震強化岸壁整備・可動橋整備検討、対象船型再配置

**<1-3> 上屋の再配置と機能強化**

国内ターミナル機能とともに集約化のため、上屋利用を元船地区内での海上定期貨物に区分し、併せて荷捌き・保管作業の効率化を目的に上屋整備を実施します。

(例) ●上屋機能の集約、機能高度化した上屋改築

**【想定効果】**

利用円滑性向上、時間短縮、悪天候時の対応力強化、船舶就航率向上、機能集約による土地利用の高度化、物流作業時間短縮、物流量の向上、安定的な物資供給

## 【ポイント2】臨海部を活かした観光・交流機能等による賑わいの創出&lt;Amuse・Ship・Seafood・Intersect・Space&gt;

観光客にとって、**観光クルーズやヨット利用がしやすい施設配置**や、地元利用者にとっても利用しやすい**観光・交流機能、レクリエーション機能を強化**することで、**臨海部の更なる賑わい**を創出する。

## 【方向性】

## &lt;2-1&gt; 観光クルーズ、ヨット施設の再配置による賑わいづくり

点在する観光クルーズ発着場を可能な限り集約し、情報発信施設や物産施設を含めた快適な待合施設を配置します。また、大型ヨットにも対応できるハーバー機能強化や、ヨットハウスの配置検討など環境整備を行い、ヨット等を活用した新たなクルーズを検討します。

- (例) ●観光クルーズ発着施設整備、ヨット発着施設整備、待合所設置  
○新たなヨットクルーズの構築

## &lt;2-2&gt; 港、水辺を活かした交流施設の配置による港の魅力の向上

国内ターミナル機能の集約によって生まれた土地に、臨海部である強みを活かした交流施設を新たに誘致することで、更なる魅力向上を目指します。併せて、次世代技術を活用したDXによる魅力向上を目指します。

- (例) ●海洋博物館誘致【操船シミュレーターゲーム、海中VR体験等】、水族館誘致、地産地消飲食施設誘致、アクアスパ誘致

## &lt;2-3&gt; 広場活用による賑わいづくり

既存のおくunch広場やプラタナス広場において、イベント開催が容易となるよう、広場機能強化による利用促進を図ります。

- (例) ●給排水・給電設備設置、緑地化、休憩施設設置  
○マルシェ開催、海産物を含めた朝市・夜市の開催

## &lt;2-4&gt; 施設の立体活用による魅力の向上

新たな駐車場や上屋、待合所等、建物の屋上部分を立体的に活用することで、レクリエーション機能の向上を図ります。

- (例) ●屋上スポーツ広場、屋上プール  
○ビアガーデン、天体観測場

## 【ポイント3】 車両や歩行者にとって優しいみちづくりによる利便性向上&lt;Ship・Island・Intersect・Space&gt;

円滑な車両交通を実現し、安心して歩くことのできるバリアフリー歩行空間を確保するとともに、各施設間の回遊性向上を図る。また、各交通拠点から元船地区への案内性を高め、ウォーカブルな動線とすることで元船地区との結節強化を図る。

## 【方向性】

## &lt;3-1&gt; 道路・駐車場の再編整備による交通渋滞の緩和

用途別道路容量や駐車場容量、交差点処理や車両動線のあり方を検討し、物流車両をはじめ、各種車両の輻輳を減少させることで、交通混雑の緩和と安全な車両交通を目指します。

(例) ●道路拡幅、交差点改良、駐車場整備

## &lt;3-2&gt; 公共交通等によるターミナルへのアクセス性の向上

バス、タクシーの公共交通は、ターミナル直結の駐車場整備やシャトルバス運行など、ハード、ソフト両面からターミナルへの利便性の向上を図ります。また新モビリティ（電動3輪車、電動スクーター、グリーンスローモビリティ等）が乗降可能な空間整備を行います。

(例) ●バス・タクシーベイ設置、タクシー・観光バス駐車場整備、自転車・新モビリティ乗降場整備

○シャトルバス・路線バス等の誘致、新モビリティによる観光開発

## &lt;3-3&gt; 歩行者回遊性の向上

まちなかへとの往来も可能とするため、最寄りの各公共交通施設と元船地区の案内性を向上させ、元船地区内の歩行空間の再整備や施設間を連結することで回遊性を向上させます。併せて、長崎駅から元船地区だけでなく、港奥部である尾上地区や丸尾地区まで含めた、快適で魅力あるウォーカブルな空間を目指します。

(例) ●歩道（遊歩道）整備、施設間連絡通路設置、施設案内板設置、ライトアップ

○ウォーカブル空間構築（屋外販売店の充実）、マルシェ開催

【想定効果】 安全性向上、来訪者増加、利便性向上、回遊性向上、時間短縮

## 【ポイント4】港、海が感じられる景観による魅力の向上&lt;Ocean・Amuse・Space&gt;

長崎港が拡がりをもたせ、眺望や、海を航行する船舶への景観、夜景に配慮した照明施設配置等により、心安らげる空間としての魅力向上を図る。

## 【方向性】

## &lt;4-1&gt; 休息空間を含めた長崎港の景観性向上

地区内に休息広場を配置し、そこから長崎港の眺望を確保することで、景観を楽しむことのできる空間づくりを目指します。

- (例) ●広場整備、休憩施設設置、緑地化、モニュメント設置  
○軽食施設の誘致

## &lt;4-2&gt; 外から見る元船地区の景観性向上

鍋冠山や立山、稲佐山といった高台や周辺地域、来訪者に対し、景観に配慮したデザイン性を確保し、更なる夜景空間の確保を目指します。

- (例) ●デザイン配慮型施設整備、夜景に配慮した照明施設整備

【想定効果】 来訪者増加、地区内消費額増加、長崎港の魅力向上、海産物購買促進、健康増進

## 【ポイント5】公共、民間が連携した整備、運営、維持管理の実施による質の向上&lt;Intersect&gt;

元船地区を長期にわたり魅力あるみなとまちとしていくため、行政、民間が連携して施設の整備、運営、維持管理を行うことで、利用者のニーズに柔軟に対応できるよう地区全体の質を向上させる。

## 【方向性】

## &lt;5-1&gt; 民間活力の導入による官民連携事業の検討

メンテナンスに配慮した施設整備や施設の魅力の向上や効率的な管理・運営を行うため、民間活力の導入を目指します。

- (例) ○PPP・PFI事業の導入、ワンストップ窓口の設置

【想定効果】 施設サービス性向上、事業費縮減、施設健全性向上、施設美化